

田心^{いんしん}の^い所^{ところ}から^は 以^も無^も沙^さ汰^た致^{いた}し^てしま^いました。

日本^にに^は 歸^{かえ}る^のの^うから^は 早^{はや}い^もの^りで^は もう^もう^う 十^{じゅう}日^{にち}に

坊^{ぼく}り^まし^た。

そ^のち^うに^は 滞^{たい}在^{ざい}中^{ちゅう}は 親^{おや}子^こ共^{ども}々^々 大^{だい}玉^{ぎよく}又^{また}

以^も世^{せい}孫^{そん}や^ら 珍^{ちん}う^まい^し 其^{その}料^{りょう}理^りを^は 沢^{たく}山^{さん}

以^も馳^ち走^{そう}に^なり^し 厚^{あつ}く^は 其^{その}社^{しゃ}申^{まを}し^上げ^ます^の。

痛^{いた}い^のつた^ら 上^う下^げか^ら 心^{こころ}に^は 暑^{あつ}い^し 日本^にに

疾^{はや}く^は 来^きま^した^ら 少^{すく}な^いの^り 食^{しょく}欲^{よく}が

な^かく^はり^し 困^{こま}り^まし^た。

疾^{はや}く^は 早^{はや}々^々 新^{あたら}しく^は open^{する} 其^{その}店^{みせ} (神^{かみ}戸^と店^{みせ}) の

しん
そり

品揃えでたいそがしり毎日ひあり、

早くネックレスを 持って 新しーお店を

訪ねたいと 思て 長りまのりか 九月十五日の

納品を ありませる までは 出掛けを ひと

出まが 残念なあり、 江戸の途中にニ、三軒

店をのそいて 見ましたか 似たようなものは

あり ますか 私が そらりから 買つてきた

ような ~~もの~~ ものほ まで 出まわつていません。

値銀は 四り五倍 くらゐ して います。

徳谷や 銀座 五しり 青山 ありりの店も

のそつて けまつもりです。

あまり あわて ないで よく 研究 ぶつ 究ん して

からに ー たいと 思て います。

それ に 今 は つかもとの 品物 を まとのものに

しても ねー いうで ー ばらく おあづけてます。

今日 政子さん から FAX があり GIFT SHOW で 買った

ものを 高橋 社長 が 名古屋へ 持って 来て

下さる どの こと して ね、 本岩に 何から 何まで

ふせ 稼 に あり ます ー 中 ー 沢 々 ぶ いません。

厚く ぶ 社 申 し 下 さい ます。

毛ぬ

Mrs. のらその上りよう——とお伝之下まよせ

此う度の旅行は短い日程——にか

私に子親子にとて思ひ去まうい旅りて。

又私にとつて、~~樹~~ 大ま官のらとは GIFT SHOW を

ゆりり 見るいと ぬまま とも 勉強に

たがり 色を (新いもの) 考えるうに大ま

い参考になりきりて。

何りりや 身体めつたし 思つて居りますの。

若い二人にとつても又思ひ深い 楽しい旅の良

と思ひます。 たた 何よりも強く感じたいとは

英語が話せなくて 自分らしく よき 七比びを

あらわせば良かった こたが 後悔 こうかい として残ったようです。

もっと早く (学生のころに) 経験 けいけん していらう

英会話の大切さを 知ってくれたと田んいいます。

二人共 それがわかった 気づきも

良い 知識 ちしき だと思 おも えて 長 なが り なが ります。

Person さんには かなり かなり 英語 (??) で お手紙 てがみ を

さし上げたにらう い るが あ わかり い ら い けた

ひょう ひょう ほう ほう か? ま ち ち が が そ そ い い ら ら う こ め め な な さ さ い。

と云 い っ い ま ま し し ぬ。

ふは此の度か、社信々一甲部
暮さも、下作、大印に好さ、
子あよう、

七月十六日

新子

十月の来日と、

新子

あきさんの住所を、

お手紙を同封させて、

よき願ひ、